

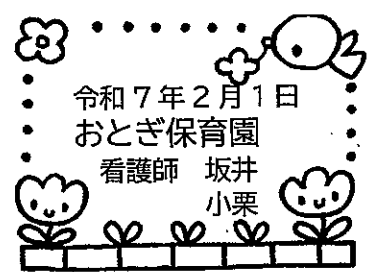
# 2月のほけんだより

令和7年2月1日

おとぎ保育園

看護師 坂井

小栗



今年は暖冬で、太陽が出ていると暖かさを感じ、走り回る子どもたちが汗ばんでいることもありましたが、しかし風が吹いたり曇りの日は一気に気温も下がり、寒暖差に体調を崩す子どもたちがみられました。

さて、2月になり発表会が近づいてきて、子どもたちが一生懸命練習している姿を見かけます。全員が元気に参加できるように、寒い時期ですが、定期的に換気するよう心がけ、感染症対策に努めていきます。

## おとぎ先月の感染症

- ・インフルエンザ 15名
- ・コロナウイルス感染症 1名

(R6/12/25~)

先月は、年末年始にインフルエンザに罹患したと報告が多くありましたが、年始からはほとんど報告はありませんでした。年始からは嘔吐や下痢など胃腸風邪の子が多くなってきている印象です。注意しましょう。

# 嘔吐物の処理方法



### 〈必要なもの〉

- ・使い捨てエプロン1個
- ・使い捨てマスク1個
- ・使い捨て手袋2セット
- ・新聞紙や雑巾など10枚くらい

- ・大きいビニール袋2枚、小さいビニール袋1枚
- ・消毒液1本→ハイター液10mlと水500ml  
(ペットボトルキャップ1杯が5ml)
- ※消毒液は処理する時に作りましょう。

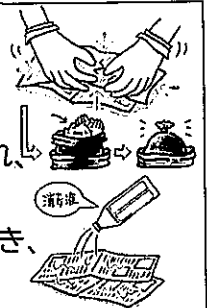
### 〈手順①〉

- ・嘔吐物に新聞紙をかける。  
→乾燥するとウイルスが拡散するためそれを防ぐ。
- ・窓をできる限り開けて換気する。
- ・エプロン、マスク、手袋を2重にしてつける。
- ・子どもの服や食器等がよごれた場合は、嘔吐物を拭き、ビニール袋などに入れ密閉しておく。



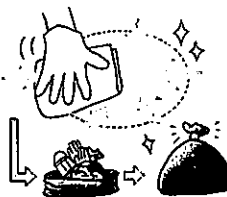
### 〈手順②〉

- ・外側から中央にいくように嘔吐物を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・1枚目の手袋を外し、ビニール袋に入れ、消毒液を1/3入れて袋の口を閉じる。
- ・嘔吐があった場所より広く新聞紙をおき、上から消毒液をかけ、10分浸ける。



### 〈手順③〉

- ・外側から中央にいくように消毒液を拭きとり、ビニール袋に入れる。
- ・エプロン、マスク、手袋を外し、1つ目のビニール袋と一緒に袋に入れ、2重にして袋を閉じる。もし消毒液が残っていたら入れる。



### 〈手順④〉

- ・うがい、手洗いをする。手洗いは2回する。
- ・換気は1時間ほどする。
- ・嘔吐物で汚れたものは、消毒液に浸けられるものは消毒液(ハイター液5mlと水500ml)に10分浸け、できないものは85℃以上のお湯に1分浸けてから洗濯する。スチームアイロンや乾燥機も有効。

